

本話を開催し、或ひは全国労働新等の出版物によつて其の有効なる徹底に努力して来た。

(四) 出版部

出版部の主たる活動は「全国労働新聞」の發行に集中された。本年度に發行せるものは第五十八號から第七十號までである。

尙、メーデーのために特別號を出版し、更に數度に亘つて「正義の光」「全國映畫版」等を附録版として出版することに協力した。

更に近く「労働者セリーズ」第三、第四輯として「轉換期に於ける歐洲労働運動」第十八回國際労働會議批判」等を出版の豫定であり、目下其の準備中である。

(五) 青年部

青年部の組織並に活動は、青年部の運動方針が未完成のため、全国的に統一せる、組織並に活動の具體的成果をあげることが出来なかつた。然し地方的にはそれだけの聯合會組合に於て適應せる組織を確立してゐる、特に大阪聯合會は青年自衛隊を編成し、東京聯合會は社會大衆黨の青年隊の組織運動に協力併行して組合青年部の活動の具體化に努力中である。

東京聯合現員委員會共済部
大阪消費組合共の他

二、日本農村協同組合會との連絡

本部共済部は右協會中央物産幹庭所との連絡により、米、茶、薪炭、南部鐵ペン、足利織物等の日用品を、東京聯合會關係組合に取次いだ。その金額は尙少額なれども今後、各職場の共同購入をすゝめ、購買部の確立を促進する方針である。

三、關西風水害救援

通達第九號(九月三十日)により全國的活動を促した。東京神戸、和歌山、大阪聯合會は街頭募金をはじめ大衆募金を行ひ相當の成績を収めた。この救援闘争はその後被害地に於ける救援要求の組合の日常闘争に發展してゐる。

尙、同盟本部は、風水害直後渡邊徳藏中央委員を派遣し、次いで、茅野、菊川兩委員も現地慰問をなした。

四、東北農村凶作救援

關西風水害救援のために多少立おくれたが、社大黨農村委員會及び労働委員會と協同して對策活動してゐる。

(八) 法律部、調査部 (省略)

(九) 國際部

一、第十八回國際労働代表選出問題

神戸聯合會其他の聯合會並に組合等に於ても部分的に確立してゐるので統一青年部の活動に關しては、青年部活動要綱並細則が常任執行委員會へ提出中であるので決定次第統一的に集中することが出来る。

(六) 婦人部

婦人組合員の参加せる労働争議及日常闘争には積極的に協力活動した。婦選獲得及び母子扶助法の獲得の闘争には社會大衆黨及び社會大衆婦人同盟其他婦人團體と協力して闘つた。

關西風水害救援運動に對しても、婦人部は職場内は勿論、街頭募金に動員した。

(七) 共済部

本同盟年來の問題たる組合の共済的施設は着々各組合支部に於いて試みられつゝある。今日尙その統一なものを見ないのは遺憾であるが、その部分的なものを列挙すれば次の通りである。

- 一、購買、消費組合
- 高砂消費組合(播州化學一般)
- 關東革技工第五支部購買部
- 日本紡績吾電支部購買部

本年度第十八回國際労働代表選出に當つては組合會議書記局より全勞より選出されべき旨の意向發表があり、全勞に於いては諸機關の討論を経て對外的に又は對内的に國際労働會議は積極的に活用し労働代表を選出することが正しく賢明であるとの意見一致し代表に菊川忠雄君、代表隨員に鈴木悅次郎君を推した。

組合會議執行委員會に於いては左の通り代表、顧問、隨員を決定した。

- 労働代表 菊川 忠雄
- 同 顧問 鈴木 倉吉
- 同 顧問 岩永 榮一
- 同 隨員 鈴木悦次郎

二、アジア労働會議結成

アジア労働會議結成に關しては歴代の労働代表によつて印度及支那代表等との間に折衝を重ねられ着々結成を促進しつつあつたが、本年度に入つて急速に結成の氣運が醸成した。即ち印度に於いては昨年十二月左右労働組合の統一によつて印度全國労働組合同盟の實現成るや同組合はアジア労働會議の結成促進に關する決議を行ひ、また日本労働組合會議に於いても積極的に結成に乗り出し四月十八日に開かれた組合會議執行委員會には「菊川代表一行を以てこの問題につき支那印度二國側と折衝する代表とすること」との決定を見、代表